

中高層ビル等への木材活用推進セミナー ～カーボンニュートラルな木造都市を目指す～

2022.2.9 (水) 13:10～17:00

参加費 無料

定員 200 名 / 事前申込制

会場 紀尾井カンファレンス メインルーム
当日ライブ配信有

東京都千代田区紀尾井町 1-4
東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー 4F
永田町駅直結 / 赤坂見附駅より徒歩 1 分
東京メトロ (有楽町線、半蔵門線、南北線、銀座線、丸ノ内線)

申込締切

2.4 (金)



2021 年 10 月に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(略称：都市の木造化推進法)は、都市部における民間建築物の木造化・木質化を進め、森林の適正な整備や木材自給率の向上を後押しし、経済と環境の好循環による脱炭素社会の実現を目指すものです。

本セミナーでは「都市の木造化推進法」に関連する具体的な施策や方針、中大規模建築物への木材活用のポイントと課題について解説すると共に、都市部で実現している「中高層ビル等の木造化」に関する最新事例をご紹介します。木造による中高層・中大規模建築物がさらに普及し、脱炭素社会の実現に貢献することを期待し、ご案内申し上げます。

※定員を超えた場合は協会会員を優先させていただきますので予めご了承ください。
受付締め切り後、順次受付票をメールにて送信いたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

(一社)日本木造耐火建築協会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

◆(仮称)千客万来施設 (6 街区) 新築工事 江東区豊洲

構造：S 造 + RC 造 + 木造 (低層棟)

施主：万葉倶楽部 (株)

設計：万葉倶楽部 (株) 一級建築士事務所、五洋建設 (株) 本社一級建築士事務所、
(株)シェルター建築設計事務所

施工：五洋建設 (株)、(株)石井工務店



◆OYプロジェクト 神奈川県横浜市

構造：木造 11 階建て

施主：(株)大林組

設計 / 施工：(株)大林組



◆銀座高木ビル 中央区銀座

構造：S 造 + 木造、RC 造、SRC 造 12 階建て

施主：(株)高木ビル

設計：山路哲生建築設計事務所



一般社団法人
日本木造耐火建築協会
Japan Fire-proof Timber building Association

事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-13-15 芝三田森ビル
TEL. 03-6809-4500 FAX. 03-6809-4501

本イベントに関するお問い合わせ先
toiawase@mokutaiken.or.jp

木耐建

検索

www.mokutaiken.or.jp

- 13:10 主催者挨拶
 13:15 来賓挨拶
 13:30 「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」の施策展開
 林野庁 林政部 木材産業課長 齋藤 健一様
 国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室長 前田 亮様
- 14:30 休憩 (15分)
- 14:45 ~ 基調講演
 15:15 「中大規模木造建築の構造設計のポイント」
 東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授 稲山 正弘様
- 15:20 ~ 事例紹介 1
 15:50 「日本初の高層純木造耐火 11 階建てビルの実現」
 (株)大林組 建築設計部 担当部長 堀池 隆弥様
- 15:55 ~ 事例紹介 2
 16:25 「日本橋兜町KITOKI (キトキ) SRC メガストラクチャー × 耐火木造 10 階建てビル」
 (株)ADX 代表取締役 安齋 好太郎様
- 16:30 ~ 事例紹介 3
 17:00 「都市における新たな中高層木造ビルプロジェクト」
 (株)シェルター 常務取締役 安達 広幸様
- 17:00 閉会



◆日本橋兜町 KITOKI (キトキ) 中央区日本橋
 構造：SRC 造 + 木造 10 階建て
 施主：平和不動産 (株)
 設計 / 施工：(株) ADX

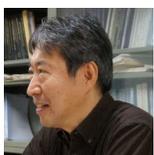


◆東洋木のまちプロジェクト 千葉県鎌ヶ谷市
 構造：RC 造 + 木造 (CLT パネル工法) 15 階建て
 施主：(株) 東洋ハウジング
 意匠設計：腰越耕太建築設計事務所
 構造設計：ストラクチャード・エンバイロメント

基調講演

中大規模木造建築の構造設計のポイント

東京大学大学院 農学生命科学研究科
 教授 稲山 正弘様



室内に木をあらわにした魅力的な中大規模木造建築を経済的につくるために知っておくべき、構造と耐火に関する法規と工法、木質材料の種類と規格および耐久性処理、接合具とプレカット加工などについてポイントを解説します。

主 催：(一社)日本木造耐火建築協会

後 援：林野庁、国土交通省、東京都、全国市長会、全国町村会、日本商工会議所、(一社)全国木材組合連合会、(株)日本政策投資銀行、(株)商工組合中央金庫、森林を活かす都市の木造化推進協議会

事例紹介1

日本初の高層純木造耐火 11 階建てビルの実現

大林組 建築設計部 担当部長 堀池 隆弥様



日本初となる構造部材(柱・梁・床・耐震壁)を全て木材とした 11 階建ての「高層純木造耐火建築物」がいよいよ 2022 年 3 月に竣工します。使用する木材は約 2,000 m³に上り、木材利用量・炭素固定量を拡大させ、実現に必要な様々な技術開発に取組み、施工方法を確立したこのプロジェクトについて、これまでの工事写真と共にご紹介いたします。

事例紹介2

日本橋兜町「KITOKI (キトキ)」

SRC メガストラクチャー × 耐火木造 10 階建てビル

ADX 代表取締役 安齋 好太郎様



日本橋・兜町に 2022 年春竣工予定の店舗兼オフィスビル「KITOKI」は、SRC 造による 3 層飛ばしのメガストラクチャーの内側に 3 層ごとの木造建築を組み合わせたハイブリッド構造を採用し、国土交通省「令和 2 年度サステナブル建築物等先導事業 (木造先導型)」の採択事業です。木造ハイブリッド構造活用のポイントとともに、東証上場の森との連携やサーキュラーエコノミーの取組みについてご紹介いたします。

事例紹介3

都市における新たな中高層木造ビルプロジェクト

シェルター 常務取締役 安達 広幸様



2022 年に進行している都市部における新たな中高層木造ビル等プロジェクトを取り上げ、耐火技術だけでなく、木造が採用されている背景や木で街の「にぎわい」を創出するといった多角的な観点から木材活用を紹介し、法律が掲げる民間建築物の木造化・木質化の普及と脱炭素社会の実現に繋がるポイントを提案します。